

「認知行動療法を実践する看護師へのグループスーパービジョンの効果検証」 研究協力をお願い

看護師の皆様、こんにちは。

私は、現在、看護師の認知行動療法の実践者を養成するための教育プログラムの開発に携わっています。なかでもグループスーパービジョン、すなわち看護師が認知行動療法を実践するときの指導や助言をグループで行う方法の効果について検討しています。今回の研究は、教育プログラムのなかのグループスーパービジョンにより、皆様の認知行動療法の知識やスキルがどの程度向上したか、認知行動療法の実施に自信が持てるようになったか、患者様の問題・課題解決のための問題解決行動力が向上したかを調べるために行なわれるものです。それらが明らかになることで、今後、グループスーパービジョンを導入した、看護師への認知行動療法の効果的な教育プログラムの構築が可能になると考えています。

このような趣旨をご理解いただき、本研究にご協力いただけることを心よりお願い申し上げます。

今回、皆様に、下記の教育プログラムをご準備しております。

はじめに、皆様に、第1回目の開始前に、研究の目的・方法、倫理的配慮（プライバシーの保護、任意での協力等）について説明し、同意書を取り交わします（もしその際、研究協力が得られなかった方も、ご希望があれば第1回目の研修は受講していただくことができます）。その後続けて、2日間（連続日）の認知行動療法の概要と方法を、講義と個人・グループ演習を通して学ぶ研修に参加していただきます（表1）。

その研修後、皆様をランダムに2つのグループに分け、1グループには1ヶ月後から毎月3回のグループスーパービジョン（表2）、2グループには3ヶ月後のフォローアップ研修（表3）を受けていただきます。なお、調査協力のご同意をいただく時点では、どちらに割り付けられるかは未定で、ランダム割付のため、個人のご希望に添えないことをご了承ください（フォローアップ研修を受ける方で、ご希望があれば、研究終了後にグループスーパービジョンを受けていただくことが可能です）。

また、研修の第1日目、2日目、グループスーパービジョンの最終回あるいはフォローアップ研修、そしてそれらの1ヵ月後の計4回、質問紙へのご回答をお願いいたします。質問紙への回答時間は、15分程度です。

さらに、第2日目とグループスーパービジョンの最終回あるいはフォローアップ研修のなかで、ロールプレイを実施します。そのとき、グループを担当していないスーパーバイザー2名があなたの面接スキルを所定の用紙を用いて評価しフィードバックします。スキルの向上に役立つと思われるので、何卒ご協力をお願い致します。

なお、研究協力いただく場合、上記のすべての研修への参加費は無料で、質問紙の郵送料等もご負担は生じません。しかし、研究参加のための旅費は自己負担となりますので、ご了承ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、研修およびグループスーパービジョンを集合形式で実施困難な場合は、遠隔ビデオシステム（Zoom, WebEx等）による実施で代替します。つきましては今回の研修も、Zoomによるオンライン開催とします。事前に、研究協力依頼書・同意書、質問紙などを郵送し、返送いただく方法で対応いたします。

<今回の研究への応募条件>

以下のすべてに該当する看護師の方を募集しています。

- ①精神科看護師としての臨床経験が3年以上あること
- ②研究参加時点で、医療機関あるいは地域の精神保健福祉関連施設で常勤勤務していること
- ③認知行動療法を臨床に活かすという動機があること
- ④本研究のプロセスすべてに参加可能であること（休日を活用する等、勤務調整がつけられること）

⑤ランダム割付および本研究参加にあたり生じる旅費の自己負担を含めて、研究への同意が得られること

* これまでに個人あるいは集団でのスーパービジョンを導入した教育研修プログラムに参加経験がある方は参加できませんので、ご注意ください。

<応募期間・方法>

令和4年7月11日（月曜日）～9月9日（金曜日）の期間内に、「認知行動療法を実践する看護師へのグループスーパービジョンの効果検証」事務局 e-mail アドレス kanngocbt@gmail.com 宛に、応募ください。

「研究参加希望」とタイトルに明記し、①氏名、②連絡先となる e-mail アドレス、をお知らせください。受理後、事務局から集合時間、場所等をお知らせいたします。

表1. すべての方が受ける2日間の教育プログラム オンライン開催

	日時・場所	研修内容	ご協力の依頼内容
第1日目	10月1日（土） 9時30分～ 16時30分	認知行動療法ってなに？ 認知行動療法はどう進めるの？ アセスメント 認知再構成法 問題解決技法 行動活性化 * 講義と個人演習で学びます。	<開始前> 研究の説明と同意の手続きの後、質問紙への回答
第2日目	10月2日（日） 9時30分～ 16時30分	演習Ⅰ：認知行動療法導入（動機づけ） 演習Ⅱ：アセスメント 演習Ⅲ：認知再構成法 演習Ⅳ：問題解決技法 * 講義、デモロールプレイ、グループ演習（ロールプレイ）で学びます。 * 各グループにスーパーバイザーが入ります。	<終了後> 質問紙への回答 スーパーバイザーによる面接評価

表2. 1グループ：グループスーパービジョンを受ける方 オンライン開催

	日時	研修内容	ご協力の依頼内容
第3・4日目	11月5日（土） 10時～16時30分 11月26日（土） 10時～16時30分	①認知行動療法の実践例の検討 各自で実践例を持ち寄ります。 事例のまとめ方を事前に提示します。 ②認知行動療法の実践上の課題と対策 * 各グループにスーパーバイザーが入ります。	
第5日目	2023年1月7日（土） 10時～16時30分	①認知行動療法の実践例の検討 第3日目と同様 ②認知行動療法の実践上の課題と対策 * 各グループにスーパーバイザーが入ります。 研修は、第5日目までとなります。	質問紙への回答 スーパーバイザーによる面接評価
終了1ヶ月後	2023年2月上旬	_____	質問紙への回答（郵送）

表3. 2グループ：フォローアップ研修を受ける方 オンライン開催

	日時	研修内容	ご協力の依頼内容
第5日目 まで		認知行動療法に関する自己学習	
第5日目	2023年1月7日 (土) 13時~16時	フォローアップ研修 研修は、第5日目までとなります。	質問紙への回答 スーパーバイザーによる面接評価
終了1ヶ月後	2023年2月上旬	_____	質問紙への回答(郵送)

* ご希望があれば研究終了後にグループスーパービジョンを受けていただくことが可能です

以上のような研究の趣旨をご理解いただき、ご協力いただける看護師の方を募集致しますので、何卒ご検討をお願いいたします。

* 本研究は、「看護のための認知行動療法研究会」で運営する研修とは異なるもので、令和4年度科学研究費助成事業（基盤研究（C））の助成を受けて実施されるものです。

* なお、本研究についてご不明点などは下記までご連絡ください。

<連絡先> 286-8686 千葉県成田市公津の杜4-3

国際医療福祉大学成田看護学部 岡田佳詠（研究代表者）

E-Mail: kanngocbt@gmail.com

yoshiok@iuhw.ac.jp